

守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト 2017 報告書③

開催日：平成29年5月20日（土）

時間：13時30分～15時00分

場所：レクチャールーム・白川

参加人数：25名中20名

運営スタッフ：高木，安井，伊藤英，門，精華大学板倉ゼミ学生

- 内容：
- ・イチモンジタナゴの観察
 - ・水質検査
 - ・先月の水槽作りのその後
 - ・噴水池について
 - ・白川の生物調査



まずはイチモンジタナゴの観察です。
先月に比べて婚姻色がとても強く出ていました。

先月みんなで底面ろ過装置を作りましたが，時間がなく水槽の立ち上げまでできませんでしたので，その後の報告をしました。砂利を洗って入れ，エアを入れて無事にできあがりしました。



そして、あれから噴水池で外来生物である「コクチバス」が発見されたことを報告しました。



その他に、昨年白川で採取した二枚貝から稚魚が浮上したことも伝え、これからも噴水池で自然に生物が繁殖していきける環境をみんなで作っていきましょう！とお話しました。

報告の後は、いよいよ白川生物調査です。

調査の場所は、動物園から歩いて5分ほどのところ。移動はみんな自然と足早になっていきます。

※京都府に採捕許可を取って実施しています。



約30分の間でしたが、みんな次々に生き物を見つけました。

終わった後は観察会です。

それぞれが採ったものをみんなで観察しました。



ヨシノボリがいました。



テナガエビは大きいものから小さなものまで
いっぱい見つかりました。



ヤリタナゴも少しですがいました。



タナゴたちが増えるために必要な二枚貝は
昨年よりもいっぱい、それも大きめのものが
採れました。



残念ながら、外来生物であるブルーギルが見つかりました。
現在、外来生物は非常に深刻な問題になっています。この活動
ではそのようなことを考えていくきっかけにもなります。

他にも色々な生物が発見できました。

カワムツ・ヤゴ・イシガメ・ナベブタムシ・プラナリア・アメンボ・カワニナなどでした。



生き物は観察したあとリリース（再放流）しましたが、本来ここ
にはならない外来種のブルーギルは動物園に持ち帰りました。

今回は動物園外に出たの活動ということで、みなさんいつもよりとても生き生きとしていました。

動物園の川や池と同じ水が流れているところには、どんな生物がいるのか、今の動物園の池と比較するための勉強でしたので、みなさんととても勉強になったと思います。

このプロジェクトでは、「楽しく学ぶ」ことができるようにプログラムをたてています。座っての勉強もしますし、実際に体で覚える勉強もします。みなさんの感想文を読むと、両方で得た知識が書かれていてとても嬉しく思いました。今年はこのプロジェクトは全6回で、今回は真ん中の3回目でした。メンバー同士の顔も覚えてきているようで、それも嬉しいことです。